

平成20年度

教育委員会活動の点検及び評価報告書

平成21年11月

京丹後市教育委員会

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第二十七条の規定に基づき、平成20年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

京丹後市教育委員会委員名簿（平成20年度末現在）

職名	氏名
委員長	上羽敏夫
同職務代理者	岸田薫子
委員	山本和美
委員	文珠清道
委員（教育長）	米田敦弘

目次

○自己点検・評価について

○教育に関する学識経験者の意見

I 教育委員会の活動状況	P 1～6
1. 教育委員会の開催状況	
2. 教育委員会委員の主な活動	
II 施策の点検・評価 総括表	
1. 学校教育の充実	P 7～8
(1) 学校規模の適正化	
(2) 学校教育施設の整備・充実	
(3) 学力向上と心身の育成	
(4) 食育の推進	
(5) 学校、地域の安全確保	
(6) 地域に開かれた学校づくり	
(7) 幼稚園、小学校、中学校の取り組み	
2. 若者の育成	P 9
(1) 青少年の健全育成	
(2) まちづくりへの若者の参加促進	
(3) 修学支援	
3. 社会教育・スポーツの充実	P 10～11
(1) 社会教育体制の確立	
(2) 図書館ネットワークの確立	
(3) 生涯学習推進体制の整備	
4. 歴史文化遺産の保全と活用	P 12
(1) 歴史資料館のネットワーク	
(2) 丹後王国の歴史文化の保存・発信	
(3) 文化財の保存と活用	
(4) 市史編さんの取り組み	
III 平成20年度事務事業評価調書等	
(別紙)	
事務事業評価調書	
学校評価	
京丹後市立幼稚園・学校評価報告一覧	
学校評価報告	

平成20年度の教育活動をふりかえって

京丹後市は平成16年4月1日に6つの町が合併して誕生以来、早くも5年が経過し、節目の年を迎えました。

この節目に当る平成20年度は、なんといっても昨年度から引き続き学校再配置問題が教育行政上の大きな課題であり、5月末までに6町の各検討分科会からの最終報告を受けて検討委員会で鋭意協議を重ねていただき、11月21日に教育委員会に答申をいただきました。教育委員会では、その答申を最大限尊重しながら1月末に「学校再配置計画（案）」をとりまとめ、2月9日から市のホームページで公開するとともに、同月下旬には市内全世帯に概要版を配布して教育委員会の学校再配置に関する考え方を周知させていただきました。また、9つの小学校区説明会で「学校再配置計画（案）」の説明を行ない、各会場とも多くのご質問やご意見をいただきました。また、パブリックコメントでは異例ともいえる360件を超える多くのご意見をいただきましたが、これらのご質問やご意見に対して、教育委員会では総括するとともに、改めて教育委員会の「見解」としてとりまとめ、全世帯に書面で配布させていただきました。学校再配置に対する市民のみなさまの関心の高さを痛感するとともに、ご質問やご意見をお寄せいただいた市民のみなさまに対し、ここに改めて厚くお礼申し上げます。

次に、京丹後市では統合保育所の建設を契機として、幼保一体化施設の性格をもつ丹後保育所・丹後幼稚園が竣工し、本市としては3つ目の幼稚園が開園しました。今後、他の町域での幼保一体化施設、あるいは一元化施設のモデルケースともなるものであり、よりよい運営のあり方を模索していくことが必要です。また、網野中学校管理棟改築工事が完成し、旧来の雑然とした校舎配置が解消され、教育環境が大いに向上することが期待されます。一方、設備備品の充実という点では、小中学校情報教室のパソコン更新等学校情報化推進事業が大きく進展し、耐震化対策事業では、大宮第二小、橘小2校で耐震診断を実施し、さらに老朽化していた久美浜中学校スクールバスを1台更新しました。さらに、積極的な情報発信を可能にするため、新たにシステムの変更を行い、教育委員会と各学校ホームページを立ち上げ、運用を開始いたしました。今後はよりきめ細かな内容の更新が課題です。

社会教育関係では、学校支援地域本部事業を大宮中学校区と網野中学校区で立ち上げ、二人の地域コーディネーターをかなめとして学校支援ボランティアの活動が始まりました。本事業は地域の人材や教育力を学校教育活動に活用するとともに、より開かれた学校づくりを進めるためのものであり、当面、平成21年度には峰山中学校区へ事業拡大し、22年度には市内全域で展開することを企図しています。また、4つの図書室を2つの本館とオンラインでシステム化し、図書館利用者の利便性を向上させることができました。公共図書館の果た

す役割は、児童生徒の活字離れやことばの力、さらにはコミュニケーション能力の衰退が憂慮されている現代において、いよいよ重要なものがあり、公的教育機関としてさらなる充実とサービスの向上を図る必要があると考えています。なお、中学生を本市の友好都市である中国・亳州市へ派遣する海外派遣事業は応募者が少なく、中止のやむなきに到ったことはまことに残念でした。文化事業では、各町文化協会・文化団体連絡協議会を本市文化協会組織へ発展的に改組するための関係者協議が進みました。また、平成 21 年度に予定されている京丹後市制施行 5 周年記念に向けた「市の歌」制定事業や、全国高校総体カヌー競技開催のための準備を進めました。

文化財保護事業では、遺跡発掘調査として 2 年目となる国指定史跡網野銚子山古墳の範囲確認調査で、葺石や丹後型円筒埴輪が出土しました。埴輪は 1 個体が完全に復元され、その表面には弓に矢をつがえたような線刻画が確認され、貴重な学術的資料を得ることができました。平成 21 年度も引き続き同調査を継続し、国史跡指定範囲の拡大と整備に向けて事業を進めていくこととしています。また、京都府指定史跡湧田山古墳や森本大谷古墳等の発掘調査を行いました。

以上、平成 20 年度の主な教育活動をふりかえってみました。最後に教育委員活動という観点から総括をしてみたいと思います。まず、教育委員会議は定例会 12 回、臨時会 7 回で、議案の内容は資料に掲載したとおりですが、やはり後援議案が大半を占め、委員長、教育長の市議会や公式行事等への出席を除けば、委員の学校訪問回数は 2 回にとどまっており、このことは委員協議会でも課題として論議になったところです。そこで今後、委員の学校訪問を活発にするとともに、委員の訪問を前提としてあらかじめ十分に準備された授業や学校運営を覗くのではなく、普段のありのままの学校を見ることが出来る学校訪問でなければ、あまり意味がないのではないかと。また、各学校が行っている自己評価についても、何のための自己評価なのか、どこを向いた評価なのかなど、委員からはかなり厳しい意見がでており、自己評価のあり方についてもさらに検討すべき課題があると思われまます。

最後に、当面する教育課題はやはりなんといっても学校の再配置問題ですが、この問題については、やはり本市の新しい学校づくり、新しい教育システムの構想と構築という観点から徹底的に再考する必要があると考えています。そして、同時に、本市の大きな教育課題である不登校の解消や学力の一層の向上といった課題解決に資する方向をめざして、市民のみなさまと活発に新しい学校教育論を交わすことが求められていると思います。

平成 21 年 11 月

京丹後市教育委員会

教育に関する学識経験者の意見

- 1 外部評価者 職名 玉川大学教育学部 教授
氏名 寺本 潔
平成 21 年 11 月 11 日

2 序論

外部評価者として大部の資料を拝見し評価を試みてみた。評価の視点として用いたのは具体性である。「〇〇を図る」や「〇〇する必要がある」の記述が目立つが、ではどうすれば〇〇が図れるか、〇〇する必要性を生み出せるかの具体的な施策の中身が示されているか否か、を見て点検した。

3 本論

(1) 教育委員会会議の開催状況について

委員会の審議事項上、しかたない側面があるが、「共催について」や「後援について」など、議案というよりも例年恒例となっている事業に関する報告案件が多く、審議の質を向上させる上でももっと緊急でかつ質的な討議に力を傾注してはどうであろうか。学校統廃合の問題や学力向上の問題、教員の資質向上、生涯学習の内容・運営面の審議などに比重をかけた方がいいとの印象を抱いた。

(2) 学校再配置検討状況について

教育委員会の再配置実施計画案については評価できる。児童学級が6学級を下回る予想が立つ場合、統廃合の検討に入るべきである。複式学級については小人数指導の良さもあるが、かつて農山村が元気であった時代と異なり、少子化と中山間地の高齢化が押し寄せている現状では児童の社会性育成や学力面から心配が残る。児童自身は多人数での学校生活を望んでいる。地域住民の郷土愛から抱く懸念は理解できるが、別の方策で地域共同体の維持は考えるべきであろう。一気に統廃合に追い込むのではなく、一部曜日開校の学校もあって良い。集落から全く子どもの声が消えるのを防ぐ意味でも。昨年、愛知県豊田市の委員会で報告した寺本案も含めて弾力的に統廃合に進んでいくべきであろう。

(3) 学校評価について

少ない予算と人員の中で各学校が教育活動に尽力していることが伝わった。橘小学校や間人小学校などに見られるように詳細で具体的な目標値を掲げてあり、良い印象をもった報告もあるが、全般的に見て包括的で妥当な内容（現状維持の感が強い）の文章が主であり、記述内容にあいまいさが幾分出ている。「次年度に向けた改善の方向性」の欄を「次年度に向けた改善策」と修正し、より具体的に到達目標や数値目標などを挙げて執筆することを提案したい。

(4) その他の学校教育活動について

「市の関与の妥当性」及び「効率性」の項目であまりにも「①」の評価が多い。スクールバス運用や学校安全対策などに関しては民間委託やNPO団体などとの連携はできないのであろうか。

(5) 社会教育活動等について

実に多くの講座が開設されている。高齢者大学やウィークエンド事業などユニークな内容もあり評価できる。しかし、市の規模から言ってやや講座の数や種類が多い気がする。類似の講座内容の統合はできないものだろうか。近隣の公民館同志のネットワークをつくり事業や講座開設の再編成を行い事業経費の削減に努める必要があるように感じた。

4 総括

全般的に言って教育委員会活動は活発で適切に行われていると評価できる。しかし市の財政面での将来予測の面から教育も聖域でなく、新しいフレームワークの構築を期待したい。なお、紙媒体の報告書は一覧できて見やすいが、印刷経費の削減とその後の活用状況の頻度から言えば、デジタル情報化した方が良い。できることから紙媒体の形式で残すことをやめてはどうか。

5 総合評価

人口が今後 10 年間で 1 万人の減少が予測される京丹後市の状況は、様々な点で近い将来市政の円滑な運営に厳しい事態が生じることが予想される。教育委員会活動に関してはおおむね評価できる報告であるが、事業の効率化や外部委託（指定管理者や民間委託も含め）の導入をさらに積極的に図る必要がある。当然、市が実施する事業であるとの固定観念にとらわれないでいくつかの事業については大胆に見直す決断が必要ではないか。市域の広域化によって行政サービスのきめ細やかさが低下するのは予想されたことであった。問題は、どう活路を見出すかである。行政は公平性と公開性が最も求められている仕事であるが、同時に地域の活性化をリードするアイデアと推進力も期待されている。そのために必要な予算の重点的配分や効率化による非効率的箇所の見直しがどうしても必要である。これには市民の反発が付きものであるが、「統合した市の将来のため」との意識をさらに市民に啓発し、旧自治体意識から脱却し京丹後市市民としてのシチズンシップの育成に取り組まなければならない。

他方、旧自治体意識の保全や醸成に力を入れる側面は文化的事象である。「文化は異なっていることが魅力」という発想に立ち、地域ごとの祭りの継承と交流や文化財学習、郷土食を元にした食育など京丹後市の魅力アップに努めてほしい。都会の児童生徒との交流事業（農村宿泊体験）や都会のシニア世代を呼び込む日帰りや 1 泊程度の生涯学習の市民交流型イベント（絵手紙製作、フットパス散策と郷土食ツアー、伝説をもとにした手作りビデオ映画祭など）などの観光まちおこし事業にも教育委員会として取り組んでみてはどうか。京丹後市は東北の日本海側や山陰地方、南四国地方に比べると関西都市圏からの距離も近く、アイデア豊かな都市間交流により活性化が可能な自治体である。「京丹後」の言葉の響きも「和」のテイストが感じられ悪くない。日本の古里としてのコンセプトで活性化してほしい。

教育に関する学識経験者の意見

- 1 外部評価者 職名 立命館大学 講師（「教育法規」担当）
氏名 長野 光孝
平成 21 年 11 月 13 日

2 序論

我が国の教育は大きな転換期にあり、60 年ぶりに教育基本法が改正され様々な制度改革が進められている。京丹後市発足 5 年の節目、草創期から発展期を迎え、教育行政は「ひと、みず、みどり 歴史と文化が織りなす交流のまち」を戴し、市の未来を担う人づくりをめざした新しい学校教育の創造を模索し、「生きる力」の育成を期して、児童生徒の学力向上を図っている。発展期初年の京丹後教育を総括し、外部評価者として意見を述べる。

3 本論

最初に注目するのは、「京丹後市学校再配置計画（案）」の進捗である。小・中学校の再配置は旧 6 町合併協議会からの課題であり、教育委員会は平成 20 年 11 月、京丹後市学校再配置検討委員会の答申を受けて、本年 1 月「学校再配置計画（案）」を公表した。以来、市議会や市小・中校長会、PTA、区長会等関係の諸機関などで説明して意見を求めた。全市の家庭には、計画案の概要版を配布して周知。5 月にはパブリックコメントを集約して取りまとめ、再び全戸配布で広報。この間、教育委員会は、連日にわたって各地区の諸会合に出向いて説明し住民の理解を求め、多くのパブリックコメント意見にも応えて練り上げ、法令などによる民主的な手続きを遵守徹底しながら計画を固め、議会に運ばれていることを高く評価したい。

言うまでもなく、学校の再配置は本市最大の教育改革である。それは、国の教育振興基本計画を参酌しながら 10 年先の社会状況や児童生徒数の推移動向を見据え、少子化や情報化・国際化などの進展、耐震・防災の備え、教育環境の変化などに対応した学校づくりである。合併前の「学区」や「旧町」意識にとらわれず、子どもの学びにとって最良、適正な学校（学級）規模、大地震・災害でも安全、学校 ICT など未来型施設・設備完備、安心な通学条件を満たした新しい学校である。本年竣工した丹後保育所・丹後幼稚園の幼保一体化施設のように、財政難であっても各学校の歴史や伝統を生かしながら統廃合して、幼小中一貫、中高一貫校などそれぞれ特色を持ち、小学校での教科担任制、地域体験学習、部活活性化など一層の学校力アップを図ることである。旧校区単位の PTA や子供会、スポーツ少年団、老人会なども新しい学区ごとに再編し、活性化させることができる。特に、古代丹後王国等の歴史ロマンや文化財、伝統文化、地場産業、豊かな海・山・自然など、地域諸団体の協力の下に教材化し体験学習をすすめる、後継者としてふるさと丹後への愛と誇りを育みたい。そのために「学校運営協議会」など、保護者・地域住民が学校運営に直接参画するシステムを構築して、地域と共に歩む学校をつくることである。

次に、教育委員会は、「指導の重点 推進上の課題」で、「学力の向上」について取り組みをすすめている。課題解決のカギは、教員の意識改革であり一人ひとりの実践的指導力を高めることである。各学校は、校内研修を充実させ新学習指導要領についての共通理解を深め、各学校の特色ある教育課程を編成し、「生徒の学習到達度調査（PISA）」、「全国学力テスト」、「学力診断テスト」などの分析結果を活用して教材研究を深め授業改善を図ること。校長は、自己評価に児童生徒や保護者、外部者の評価を取り入れて「学校評価」を行い、教員の人間性や社会性、専門性の向上に資することである。学校教育目標や重点項目は、「不登校0」、「全校英語検定受験」などを児童生徒、保護者・市民に分かるように数値などでビジュアルにして、家庭・地域社会にも発信して「学校を開く」ことができないか。教育委員会は特色ある取組や成果を評価し、課題のある学校には適切な指導や指示、人事や運営予算の配慮など両面からサポートすることが大切である。

社会教育面では、図書館活動が重視され、図書室と本館オンライン化など公共図書館の利便化が図られたことを評価したい。（財政難で図書の本を買わず別の使い道に充てる自治体も多いが～。）学校図書館は、子どもにとって一番身近にある豊かな知の世界である。学校図書館と市立図書館をコラボレーションさせ、親子の読書活動を進め学校読み聞かせボランティアとのネットワーク化を図って、児童生徒のリーディングリテラシー、コミュニケーション力を培うことは喫緊課題である。社会体育やスポーツ大会は各種熱心に推進されているが、効率的に運営して、経費節減や担当者の負担軽減などの配慮が必要でないか。

4 総括

「日本のふるさと原風景」と言われる丹後は、埋蔵文化財、史跡、歴史資料など貴重な文化遺産、丹後震災、琴引き浜鳴き砂など豊かな自然遺産の宝庫であり、地域と教育を結ぶ教育実践の先進地である。教育委員会は、この伝統と文化・自然遺産を生涯学習の基盤に据えて「学校・社会融合」で教育を守り発展させ、観光資源として開発につなげる視座をもって本市の飛躍発展に寄与することを期待する。

最後に、教育委員会の所管事項は多岐にわたり会議など多用であるが、さらに学校現場や地域に出向き市民・保護者の息づかいを感じながら、共に汗して明日の京丹後教育を語り、新しい学校創造に向かって前進されるよう祈念してやまない。

I 教育委員会の活動状況

I 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況（平成20年4月～平成21年3月）

教育委員会議は、毎月1回「定例会」を、また必要に応じて「臨時会」を開催し、平成20年度は合計19回開催しました。

- (1) 教育委員会定例会・・・ 12回
- (2) 教育委員会臨時会・・・ 7回

○平成20年度 教育委員会審議案件等一覧

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
20.4.4	4月定例会	58	不登校教育講演会に係る後援について
		59	専決処分の承認について（第3回マルハンカップ少年野球大会に係る後援）
		60	専決処分の承認について（2007八丁浜芝生広場オープン記念少年サッカー大会に係る後援）
		61	専決処分の承認について（京丹後市教育委員会公印規程の一部改正）
		報告 2	専決処分の承認について（京丹後市立学校事務職員の職の設置に関する規則の一部改正）
		報告 3	平成19年度北丹陸上競技協会主催競技会に係る後援について
20.5.7	5月定例会	62	京丹後市立幼稚園条例の一部改正について
		63	京丹後市立幼稚園条例施行規則の一部改正について
		64	京丹後市公民館条例の一部改正について
		65	京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について
		66	第5回京丹後市長杯争奪中学校野球大会に係る共催について
		67	第21回網野町ふれあいコンサートに係る共催について
		68	ポップスコンサート in 大宮に係る後援について
		69	平成20年度奥大野公民館新築記念区民運動会に係る後援について
		70	第29回みねやまさつき展に係る後援について
		71	第41回峰山スポーツ祭典に係る後援について
		72	平成20年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会 第24回全国高等学校カヌー選手権大会 京都府予選会兼第19回京都府高等学校カヌー選手権大会に係る後援について
		73	第13回グランドシニアゲートボール大会に係る後援について
		74	第23回京丹後市ゲートボール選手権大会に係る後援について
		75	第4回市民野球大会（社会人）に係る後援について
		76	専決処分の承認について（第63回国民体育大会カヌー競技（フラットウォーターレーシング）京都府代表選手選考会に係る共催）
		77	専決処分の承認について（第7回京丹後市ファミリーバドミントン教室交流大会に係る後援）
		78	専決処分の承認について（「みなと大浜～夕日ヶ浦」ウォーキングに係る後援）
		79	専決処分の承認について（京丹後市縦断小学生ウルトラクイズに係る後援）
		80	専決処分の承認について（丹後七姫カップ2008第1回女子サッカー大会に係る後援）
報告 4	平成20年度京丹後市指定文化財に係る諮問について		
20.6.10	6月定例会	81	京丹後市大宮地域公民館長の解任について
		82	京丹後市大宮地域公民館長の任命について
		83	平成20年度丹後ブロック中学校陸上競技選手権大会に係る共催について
		84	両丹公立幼稚園PTA連絡協議会総会並びに研修会に係る後援について
		85	第22回網野カップ少年サッカー大会に係る後援について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
20.6.10	6月定例会	86	平成20年度伝統文化子ども教室（京丹後市装道和装礼法子ども教室）に係る後援について
		87	平成20年度社会福祉体験学習に係る後援について
		88	第10回羽衣交流グラウンドゴルフ大会 in 京丹後市に係る後援について
		89	第11回あみの八丁浜ロードレース大会に係る後援について
		90	弥栄町青少年をそだてる会事業に係る後援について
		91	和太鼓松村組 峰山公演「千樹2008」に係る後援について
		92	専決処分の承認について（はだしのコンサートに係る後援）
		93	専決処分の承認について（キッズ（U-6/U-8）サッカーフェスティバル in 八丁浜に係る後援）
		94	専決処分の承認について（「京セラミタ・京都サンガF.C.」ふれあいサッカー教室に係る後援）
		95	専決処分の承認について（京都サンガF.C. ビーチサッカーフェスタ 2008 in 網野に係る後援）
		96	専決処分の承認について（第38回京都府剣道道場連盟丹後地区少年剣道練成大会に係る後援）
		97	専決処分の承認について（第11回京丹後市ソフトバレーボール大会に係る後援）
		98	京丹後市図書館条例施行規則の一部改正について
99	第45回教育者研究会に係る後援について		
20.6.27	6月臨時会	100	京丹後市総括指導主事の解任について
		101	京丹後市指導主事の任命について
		102	京丹後市総括指導主事の任命について
20.7.3	7月臨時会		委員長職務代理者の選挙について（岸田薫子氏） 20.7.3～1年間
20.7.8	7月定例会		委員長の選挙について（上羽 敏夫氏） 20.7.8～1年間
			教育長の選挙について（米田 敦弘氏） 20.7.8～1年間
		103	京丹後市指定文化財の指定の解除について
		104	平成20年度京丹後市指定文化財の指定について
		105	「府民防犯の日」 in 丹後に係る共催について
		106	フェスタ『飛天』2008 in 京丹後に係る共催について
		107	女性講演会に係る後援について
		108	夏休みジュニアゲートボール教室に係る後援について
		109	第4回京丹後市長杯争奪学童野球大会に係る後援について
		110	金剛流能舞台に係る後援について
		111	平成20年度伝統文化子ども教室（お琴教室）に係る後援について
		112	第4回京丹後市総合体育大会に係る後援について
20.8.6	8月定例会	113	教育委員会事務局職員の処分について
		114	教育委員会事務局職員の処分について
		115	教育委員会事務局職員の処分について
		116	教育委員会事務局職員の処分について
		117	教育委員会事務局職員の処分について
		118	京丹後市社会教育指導員の解嘱について
		120	平成21年度使用小学校教科用図書の採択について
		121	平成21年度使用中学校教科用図書の採択について
		122	京丹後市立学校体育施設等の利用等に関する条例の一部改正について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
20.8.6	8月定例会	123	京丹後市立学校体育施設等の利用等に関する条例施行規則の一部改正について
		124	京丹後市公民館条例の一部改正について
		125	京丹後市公民館条例施行規則の一部改正について
		126	京丹後市いさなご工房条例の一部改正について
		127	京丹後市いさなご工房条例施行規則の一部改正について
		128	京丹後市マスターズビレッジ条例の一部改正について
		129	京丹後市マスターズビレッジ条例施行規則の一部改正について
		130	京丹後市社会体育施設条例の一部改正について
		131	京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について
		132	平成20年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 峰山町教職員球技大会事業に係る共催について
		133	平成20年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 大宮町教職員球技大会事業に係る共催について
		134	平成20年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 網野町教職員球技大会事業に係る共催について
		135	平成20年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 丹後町教職員球技大会事業に係る共催について
		136	平成20年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 弥栄町教職員球技大会事業に係る共催について
		137	平成20年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 久美浜町教職員球技大会事業に係る共催について
		138	舞鶴高専PRフェスティバルに係る後援について
		139	「第2回 安養寺蠟燭能」及び「わかる・楽しい能楽体験講座」に係る後援について
		140	平成20年度京都府公立幼稚園PTA連絡協議会「北部会場」研修会に係る後援について
		141	第32回丹後中央ライオンズクラブ学童野球大会に係る後援について
		142	竹野川クリーン大作戦に係る後援について
143	専決処分の承認について（第52回京都府学校保健研究大会に係る共催）		
144	専決処分の承認について（平成20年度第61回京都府中学校総合体育大会に係る共催）		
145	専決処分の承認について（みなと祭り協賛「第46回丹後町少年剣道練成大会」に係る後援）		
146	専決処分の承認について（第7回ジュニアゲートボール大会に係る後援）		
報告5	財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について		
20.9.4	9月定例会	147	第30回両丹手話劇コンクール・文化のつどいに係る後援について
		148	モラロジー生涯学習セミナーに係る後援について
		149	第27回やさか芸能の夕べに係る後援について
		150	第12回京丹後市ソフトバレーボール大会に係る後援について
		151	第2回ドコバレー杯 ソフトバレーボール交流大会に係る後援について
		152	丹後吹奏楽団第20回定期演奏会に係る後援について
		153	第4回京丹後ボーイズ親善大会に係る後援について
		154	平成20年度京丹後市網野文化祭に係る後援について
		155	第24回みねやま駅伝大会に係る後援について
		156	京都府中学校教育研究会理科研究大会に係る後援について
		157	専決処分の承認について（京丹後市社会教育指導員の委嘱）
		158	専決処分の承認について（第28回（平成20年度）京丹後市小学生バレーボール大会に係る後援）
		159	専決処分の承認について（峰山柔道教室 柔道交流大会に係る後援）
		160	専決処分の承認について（平成20年度京都府小学校教育研究会図書館教育研究大会に係る後援）

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
20.9.4	9月定例会	報告6	京丹後市ふるさと応援基金条例の制定について
		161	第19回丹後中学校女子ソフトボール大会に係る後援について
		162	2008全国鳴砂サミットIN京丹後に係る後援について
		163	2008年かがやきの杜ふれあいバザーに係る後援について
		164	第41回京丹後市小学校特別支援学級ふれあい交流会に係る後援について
20.10.2	10月定例会	165	第17回京丹後市小学校駅伝競走大会に係る共催について
		166	峯山藩フォーラムに係る後援について
		167	平成20年度久美浜町文化祭に係る後援について
		168	平成20年度丹後町文化祭に係る後援について
		169	第1回「木津川市・京丹後市」友好都市少年少女合唱団交歓演奏会に係る後援について
		170	第34回丹後町地区対抗駅伝競走大会に係る後援について
		171	みんなで走ろう10分の1マラソンとウォーキングに係る後援について
		172	専決処分の承認について（第18回（平成20年度）丹後ブロック中学校駅伝競走大会に係る共催）
		173	専決処分の承認について（放送大学京都学習センター公開講演会に係る後援）
		174	専決処分の承認について（平成20年度ふるさと登山交流大会事業「第16回高龍寺登山まつり」に係る後援）
		175	専決処分の承認について（橘至誠館開設40周年記念大会に係る後援）
		176	専決処分の承認について（第22回丹後中央ライオンズクラブ少女バレーボール大会に係る後援）
		178	第45回弥栄町文化祭に係る後援について
20.10.16	10月臨時会	179	府費負担教職員の処分内申について
		180	府費負担教職員の処分内申について
		181	平成20年度全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて
20.11.4	11月定例会	182	平成21年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会 第25回全国高等学校カヌー選手権大会に係る共催について
		183	第43回大宮町一周駅伝競走大会に係る後援について
		184	平成20年度京丹後市PTA協議会研究大会に係る後援について
		185	第17回中野真理子杯京丹後市小学生バレーボール大会（新人大会）に係る後援について
		186	第55回日本母親大会（2009年7月25日・26日 開催地 京都）に係る後援について（不承認を求める）
		187	京丹後市 第14回カニの町「丹後町」親善ゲートボール大会に係る後援について
		188	第28回「京都新聞書き初め展」に係る後援について
		189	第17回上山杯争奪少年少女柔道大会に係る後援について
		190	JFAキッズ（U-6/U-8）&レディース/ガールズサッカーフェスティバル2008 & JFAファミリーフットサルフェスティバル2008に係る後援について
		191	専決処分の承認について（京丹後市小・中学校音楽フェスティバルに係る共催）
		192	専決処分の承認について（第2回網野グリーンカップ少年サッカー大会U-10に係る後援）
		193	専決処分の承認について（第24回小学生駅伝大会に係る後援）
		194	専決処分の承認について（次代へ残す鳴き砂の琴引浜～触れて遊んで守ろう！琴引浜の白砂青松～「琴引浜保全ツアー」に係る後援）
20.12.10	12月定例会	195	第3回京丹後市新春ソフトバレーボールフェスティバルに係る後援について
		196	峰山少年少女合唱団創立30周年記念演奏会に係る後援について
		197	専決処分の承認について（教育講演会に係る後援）
		198	平成19年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
21.1.5	1月定例会	1	京丹後市学校再配置計画（素案）について
		4	平成20年度大宮児童合唱団定期演奏会に係る後援について
		5	第23回丹後スキー大会に係る後援について
		6	専決処分の承認について（平成20年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申）
21.1.14	1月臨時会	7	京丹後市学校再配置計画（素案）の策定について
		8	丹後幼稚園の運営方針について
21.2.4	2月定例会	9	平成21年度「指導の重点」について
		10	平成21年度全国学力・学習状況調査の実施について
		11	京丹後市教育委員会職員補職名規則の一部改正について
		12	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について
		13	京丹後市立幼稚園条例施行規則の一部改正について
		14	京丹後市社会教育指導員規則の一部改正について
		15	京丹後市図書館条例施行規則の一部改正について
		16	網野高等学校「第36回美術・書道作品展」に係る後援について
		17	第5回京丹後市少年剣道大会に係る後援について
		18	丹後昔ばなし大学に係る後援について
		19	講演会「昔話が語る子どもの姿」に係る後援について
		20	久美浜児童合唱団第6回スプリングコンサートに係る後援について
		報告 1	平成20年度地域活性化・生活対策臨時交付金事業について
		21	京丹後市外国語指導助手の服務等に関する規則の一部改正について
22	京都サンガF.C. キッズキャラバンに係る後援について		
23	京丹後 かにかにフットサルかへにバルに係る後援について		
21.2.24	2月臨時会	24	平成21年度教育予算について
		25	京丹後市教育委員会事務局職員の管理職人事について
21.2.27	2月臨時会	26	平成21年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について
		27	第20回丹後サッカーフェスティバルに係る後援について
21.3.11	3月定例会	28	平成21年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について
		29	京丹後市指導主事の任命について
		30	京丹後市社会教育指導員の委嘱について
		31	第5回マルハンカップ少年野球大会に係る後援について
		32	拉致問題講演会に係る後援について
		33	第13回京丹後女子親睦ゲートボール大会に係る後援について
		34	2009ウエスタンリーグ公式戦に係る後援について
		35	専決処分の承認について（京丹後市教育委員会事務局職員の一般職人事）
		報告 2	奥丹後地方教職員組合からの学校再配置に係わる申し入れについて
		報告 3	奥丹後地方教職員組合からの子どもの就学保障などに関する緊急申し入れについて
21.3.30	3月臨時会	36	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について
		37	京丹後市立学校事務職員の職の設置に関する規則の一部改正について
		38	京丹後市立学校教職員の勤務時間等に関する規則の一部改正について
		39	京丹後市指導主事等服務規程の一部改正について

2. 教育委員会委員の主な活動

月	月 日	件 名	場 所
4月	H20. 4. 23	丹後地方教育委員会連合会幹事会・役員会	丹後教育局
5月	H20. 5. 28	第1回教育委員協議会（丹後幼稚園運営）	大宮庁舎
	H20. 5. 7	丹後地方教育委員会連合会総会	丹後教育局
	H20. 5. 19	京都府市町村教育委員会連合会定期総会	京都市
6月	H20. 6. 2	市議会6月定例会（本会議、予算審査特別委員会）	峰山庁舎
7月	H20. 7. 10	京丹後市校園長会議	大宮庁舎
	H20. 7. 14	「京丹後市立丹後保育所、幼稚園」新築工事 地鎮祭・起工式	丹後幼稚園
	H20. 7. 16	市議会臨時議会	峰山庁舎
	H20. 7. 30	第2回教育委員協議会（稲葉家文書調査事業等）	大宮庁舎
8月	H20. 8. 5	市議会文教厚生常任委員会委員との教育懇談（ゆとり教育、不登校について意見交換）	大宮庁舎
	H20. 8. 7	教育委員と市長との懇談会（当面する教育課題）	峰山庁舎
	H20. 8. 15	第3回教育委員協議会（間人小学校問題事象）	大宮庁舎
	H20. 8. 18	教育委員・市内校長会懇談会	峰山庁舎
	H20. 8. 19	第43回人権教育研究会 丹後大会	峰山総合福祉センター
	H20. 8. 28	市議会全員協議会	峰山庁舎
9月	H20. 9. 1	市議会9月定例会（本会議、一般質問、決算審査特別委員会）	峰山庁舎
	H20. 9. 7	第4回京丹後市総合体育大会	途中ケ丘公園
	H20. 9. 13	体育祭（間人中学校、弥栄中学校）	間人中学校、 弥栄中学校
10月	H20. 10. 26	平成20年度京丹後市小町ろまん短歌大会	アグリセンター大宮
11月	H20. 11. 15	平成20年度京丹後市小・中学校音楽フェスティバル	丹後文化会館
	H20. 11. 16	市議会臨時議会	峰山庁舎
	H20. 11. 18	平成20年度京丹後市戦没者追悼式	丹後文化会館
	H20. 11. 21	第10回京丹後市学校再配置検討委員会	峰山庁舎
	H20. 11. 22	平成20年度京丹後市PTA研究大会	アグリセンター大宮
	H20. 11. 30	第1回木津川市・京丹後市友好都市少年少女合唱団交歓演奏会	丹後文化会館
12月	H20. 12. 1	市議会12月定例会（本会議、一般質問）	峰山庁舎
	H21. 12. 10	第4回教育委員協議会（学校再配置計画ほか）	大宮庁舎
1月	H21. 1. 5	新春賀詞交歓会	峰山総合福祉センター
	H21. 1. 10	丹後町少年少女意見発表会	丹後地域公民館
	H21. 1. 13	市議会全員協議会	峰山庁舎
	H21. 1. 23	教育委員研修（平成20年度京丹後市教育実践モデル校発表会、京丹後市へき地教育研究会研修会【野間小学校】）	野間小学校
2月	H21. 2. 25	第1回教育委員協議会（支払遅延等）	大宮庁舎
	H21. 2. 24～25	平成20年度管外教育委員視察研修（教育行政、まちづくり、文化財活用等）	奈良県高市郡明日香村 教育委員会、京都府木 津川市教育委員会
3月	H21. 3. 2	市議会3月定例会（本会議、予算審査特別委員会）	峰山庁舎
	H21. 3. 13	卒業式（中学校）	各中学校
	H21. 3. 15	京丹後市成人式	丹後文化会館
	H21. 3. 24	「京丹後市立丹後保育所、幼稚園」新築工事 竣工式	丹後幼稚園

Ⅱ 施策の点検・評価 総括表

(施策の点検・評価 総括表 説明資料)

A. 自己評価区分

戦略性 (上位施策に対して有効か)	①基本計画の主要事業である
	②実施計画の掲載事業である
	③計画に結びつく事業である
	④結びつかない
市の関与の妥当性 (市が実施する必要があるか)	①市が実施する事業である
	②市民等の参画協力の余地がある
	③市民等民間へ移行の余地がある
	④市が関与するものでない
時代適合性 (社会情勢等から見て必要か)	①当初と変わらず必要性は高い
	②社会情勢の変化、住民ニーズの変化により若干薄れてきている
	③薄れている
効率性 (コスト単価・経費削減への 取り組み)	①削減の余地は全くない
	②削減の余地は若干ある
	③削減の余地がある
有効性 (目的・必要性に対しての 効果)	①大変有効である
	②有効である
	③余り有効でない
	④有効でない
達成度 (事業目標に対して)	①達成できた(100%以上)
	②概ね達成できた(80%以上)
	③あまり達成できなかった(50%以上)
	④達成できなかった(50%未満)

B. 事業内容の方向性

①現状維持
②内容の見直し
③統廃合・休止
④事業終了

C. 事業規模の方向性

①事業拡大
②現状維持
③事業縮小

II 施策の点検・評価 総括表

施策分類1	施策分類2	調書番号	事務事業の名称	A. 自己評価						B. 事業内容の方向性	C. 事業規模の方向性
				戦略性	市の関与の妥当性	時代適合性	効率性	有効性	達成度		
1 学校教育の充実	(1) 学校規模の適正化	教総2	学校再配置検討事業	①	①	①	①	①	①	④	
	(2) 学校教育施設の整備・充実	教総6	小学校施設改修事業	③	①	①	①	①	②	①	①
		教総7	小学校施設耐震診断事業	①	①	①	①	①	③	①	①
		教総9	小学校施設管理事業	③	①	①	①	①	②	①	①
		教総10	中学校施設改修事業	③	①	①	①	①	②	①	①
		教総11	中学校施設耐震化事業	①	①	①	①	①	③	①	①
		教総14	中学校施設管理事業	③	①	①	①	①	②	①	①
		教総15	網野中学校管理棟改築事業	③	①	①	①	①	①	④	
		教総16	幼稚園施設改修事業	③	①	①	①	①	②	①	①
		教総17	幼稚園施設管理事業	③	①	①	①	①	②	①	①
		教総18	丹後幼稚園整備事業	③	①	①	①	①	①	④	
		学教6	学校情報化推進事業	②	①	①	①	①	②	①	②
		学教7	小学校管理運営事業	①	①	①	①	①	②	①	①
		学教13	中学校管理運営事業	①	①	①	①	①	②	①	①
		(3) 学力向上と心身の育成	教総5	外国語指導助手招致事業	③	①	①	①	②	②	①
	学教1		指導主事設置事業	①	①	①	①	①	①	①	②
	学教2		学校保健事業	③	①	①	①	①	①	①	②
	学教3		学校医委嘱事業	③	①	①	①	①	①	①	②
	学教4		学務経費	③	①	①	①	①	②	①	②
	学教8		児童教職員健康管理事業	①	①	①	①	①	②	①	②
	学教9		小学校教育振興事業	①	①	①	①	②	②	①	①
	学教10		小学校教育振興備品整備事業	①	①	①	①	①	②	①	①
	学教11		小学校就学援助費	③	①	①	①	①	①	①	②
	学教12		小学校教育推進事業	②	①	①	①	①	①	①	②
	学教14		生徒教職員健康管理事業	①	①	①	①	①	①	①	②
	学教15		中学校教育振興事業	①	①	①	①	②	②	①	①
	学教16		中学校教育振興備品整備事業	①	①	①	①	①	③	①	①
	学教17		中学校就学援助費	③	①	①	①	①	①	①	②

施策分類1	施策分類2	調書番号	事務事業の名称	A. 自己評価						B. 事業内容の方向性	C. 事業規模の方向性
				戦略性	市の関与の妥当性	時代適合性	効率性	有効性	達成度		
		学教18	中学校教育推進事業	②	①	①	①	①	①	①	②
		学教19	幼稚園運営管理事業	①	①	①	①	①	③	①	①
		学教20	園児等健康管理事業	①	①	①	①	①	②	①	②
	(4) 食育の推進	学教21	網野給食センター管理運営事業	①	①	①	①	①	②	②	②
		学教22	小学校給食管理運営事業	①	③	①	①	①	①	①	②
		学教23	中学校給食管理運営事業	①	③	①	①	①	①	①	②
		学教24	幼稚園給食管理運営事業	①	③	①	①	①	①	①	②
		学教25	地元農産物給食利用促進支援事業	①	①	①	①	②	①	①	②
		学教26	学校給食一般経費	①	①	①	①	②	①	①	②
		(5) 学校、地域の安全確保	教総8	小学校スクールバス運行管理事業	①	①	①	①	①	②	①
	教総12		中学校スクールバス運行管理事業	①	①	①	①	①	②	①	①
	教総13		中学校スクールバス購入事業	①	①	①	①	①	②	①	①
	学教5		学校安全対策事業	③	①	①	①	①	①	①	②
	(6) 地域に開かれた学校づくり		(7) の項目で個別掲載	※末尾に「学校評価」を添付							
	(7) 幼稚園、小学校、中学校の取り組み		幼稚園 2園								
			小学校 31校								
			中学校 9校								

施策 分類1	施策 分類2	調書番号	事務事業の名称	A. 自己評価						B. 事業内 容の方向性	C. 事業規 模の方向性
				戦略性	市の関 与の妥 当性	時代 適合性	効率性	有効性	達成度		
		社会31	図書館システム統合事業	①	①	①	①	①	①	①	②
	(3) 生涯学習推進体制の整備	社会5	障害者教育事業	③	②	①	①	②	②	①	②
		社会6	成人教育事業	②	①	①	①	①	②	②	②
		社会7	女性教育事業	③	①	①	①	②	②	①	②
		社会8	高齢者教育事業	②	②	①	①	①	②	①	②
		社会10	芸術文化事業	②	②	①	③	②	②	②	②
		社会11	人権教育事業	①	①	①	②	②	②	①	②
		社会12	市の歌制作事業	③	②	①	③	②	②	④	
		社会13	学校支援地域本部事業	③	②	②	①	②	②	①	①
		社会43	地域スポーツ振興事業	③	①	①	①	②	②	①	②

Ⅲ 平成20年度事務事業評価調書等

(事務事業評価調書の自己評価等区分 説明資料)

A. 自己評価区分

戦略性 (上位施策に対して有効か)	①基本計画の主要事業である
	②実施計画の掲載事業である
	③計画に結びつく事業である
	④結びつかない
市の関与の妥当性 (市が実施する必要があるか)	①市が実施する事業である
	②市民等の参画協力の余地がある
	③市民等民間へ移行の余地がある
	④市が関与するものでない
時代適合性 (社会情勢等から見て必要か)	①当初と変わらず必要性は高い
	②社会情勢の変化、住民ニーズの変化により若干薄れてきている
	③薄れている
効率性 (コスト単価・経費削減への 取り組み)	①削減の余地は全くない
	②削減の余地は若干ある
	③削減の余地がある
有効性 (目的・必要性に対しての 効果)	①大変有効である
	②有効である
	③余り有効でない
	④有効でない
達成度 (事業目標に対して)	①達成できた(100%以上)
	②概ね達成できた(80%以上)
	③あまり達成できなかった(50%以上)
	④達成できなかった(50%未満)

B. 事業内容の方向性

①現状維持
②内容の見直し
③統廃合・休止
④事業終了

C. 事業規模の方向性

①事業拡大
②現状維持
③事業縮小